



ボランティアを
紹介してほしい人
ボランティア活動を
はじめたい人
ボランティアセンター
にお問い合せください
(☎ 894-3737)

第25回健康福祉フェスティバル・ふれあい広場

各ブースでボランティア募集!!

出店ブース	11月13日(日)	
	募集人数	活動時間
キャベツ焼き	20人	8:30~15:30
水餃子	15人	9:00~15:30
野点	15人	9:00~15:30
植木(※)	15人	9:00~15:30
本部バザー	20人	9:00~15:30

☆活動時間帯は午前のみ、午後のみも可
☆飲食ブースのお手伝いを希望される方は三角巾、マスク、手拭いをご持参ください。

11月13日(日)、ゆうゆうセンターで健康福祉フェスティバルが開催されます。ボランティアグループの出店もあつちあつち。当日お手持い頂けるボランティアが不足してまいります。ご協力ください。

☆バザー用品のご提供をお願いします。

家庭で眠っている品物の提供をお願いします。(電化製品、衣類、食料品を除く)雑貨、台所用品等については未使用品をお願いいたします。一度開封した物品等はお断りすることもあります。ですのでご注意ください。

物品の持ち込みは10月25日(火)から11月8日(火)までにボランティアセンターへお届けください。

☆植木・草花のご提供もお願いします

植木・草花をご提供くださる場合の持ち込みは11月9日(水)から11日(金)とします。持ち込みができませんの方はボランティアセンターへ電話をください。
※草木の名前、育て方も教えてください。
※プラスチック製の植木鉢のご提供もお願いします。



第20回市民交流フェスタ ～ボランティア in 交野～

9月3日(土)ゆうゆうセンターで開催、黒田市長をはじめ多くの参加者のもと、ででんこ交野・第4中学校コーラス部の演奏など楽しいフェスタになりました。



ででんこ交野の和太鼓演奏



第4中学校コーラス部のみなさん



要約筆記体験(星の会)



黒田市長挨拶



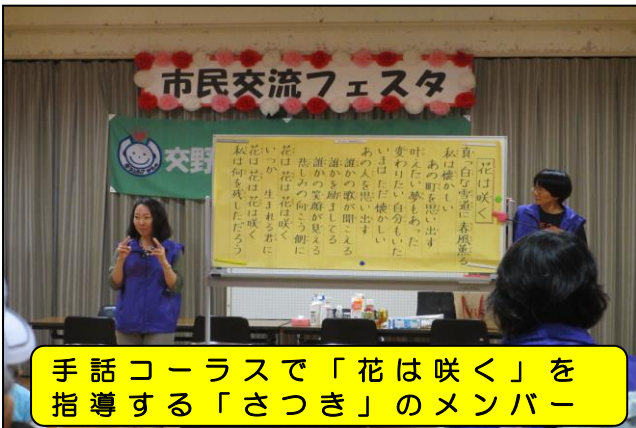
紙すき体験(ミルキーウェイ)

点字体験(虹の会)

アイマスク体験(あい)



南京玉すだれを披露する吉田さん(玉手箱)



手話コーラスで「花は咲く」を指導する「さつき」のメンバー



フィナーレは「HAND」のメンバーと一緒に歌体操を楽しみました



アイマスクをつけて
コインの判別 …… 難しい？

市民交流フェスタに キッズボランティアが参加

市民交流フェスタに小学4〜6年生の児童が「キッズボランティア大作戦」の一環として参加しました。

さまざまなボランティア体験ができるコーナーでは緊張の面持ちだったキッズボランティア。体験だけでなく、ボランティアとして大切にしたいことなどを教わったようです。

そして「体験の時に褒めてもらって嬉しかった。自分にもできることがあるかも知れないと思っ

た、「いろいろなボランティアさんとお話しができて楽しかった」など、新たに気付いたこともあり、充実した体験となったようです。

今後もキッズボランティアの活動予定として、老人福祉大会や健康福祉フェスティバルでの街頭募金活動やふれあい広場の模擬店のお手伝いを企画しています。

老人福祉大会は 10月1日 10時〜14時。

健康福祉フェスティバルは 11月13日(日) 10時〜14時。1回だけの参加も可能です。

お申し込みはボランティアセンターまで(☎83737)

ボランティア インタビュー-47



永岡みさ子さん
(陽だまり)

ボランティアを始めたきっかけは

初代会長の福永様に紹介をいただき、ボランティア協会に入りました。その頃は協会全体でいろんな活動に取り組んでおり、私は機能訓練教室で主に高齢者のお世話をしておりました。

陽だまりの発足に参加

平成6年にボランティアセンターができたのを期に、在宅訪問「陽だまり」が発足、活動内容の説明を受けました。「傾聴ボランティア」をやるうと決めました。依頼者のお話を通して、様々な人生経験に触れ、私自身が学ぶことが多く感謝しています。

活動を支えてくれる
主人に感謝です

私がボランティアを続けられるのは、主人の理解があるのと日々感謝しています。

いま主人が入院しています。足が少し悪いので車いすの生活ですが、看護師さんに励まされ運動に一所懸命です。私もリハビリに繋がると後押しをしています。

今後の活動について

地域でのコミュニケーションの難しさを実感していますが、コミュニケーションをよくするのに「傾聴」は欠かせない要件のひとつです。傾聴の輪を広げていきたいと思っています。



大阪880万人避難訓練エリアメール ボランティアセンターで避難訓練

9月5日(月)11時3分、大阪府付近に滞在している市民の携帯電話に、大地震後の大津波警報を想定したエリアメールが一斉に送信されました。

日頃から市民の防災への意識を高めようと、平成24年に始まった大阪880万人訓練の取り組み。ボランティアセンターでも、毎年この時に合わせて避難訓練を行ってきました。



ボランティアセンター前に集結、状況把握に努める

この日、センターで活動していた方にご協力をいただき、地震で館内に物が散らばり、余震のおそれがあるという設定で、避難を行いました。

ボランティアセンターの避難経路は、通常出入口口として使用している玄関と、1階活動室の窓(非常時は、内側から蹴破ることができるところ)になっていきます。2階から降りることができ、非常はしごの3か所です。

また、ボランティアセンター近辺で指定緊急避難場所として指定されているのは、第四中学校のグラウンドですが、水害などの状況によっては、高所に避難が必要なものもあります。今後も様々な状況を想定した訓練を重ね、防災・減災について対策を進めていきたいと考えています。

リーダー会議

(9月27日)

☆連絡会より

・市民交流フェスタ報告
9月6日の反省会での意見や今後への課題並びに会計報告。

☆ふれあい広場について

11月13日開催のふれあい広場の実行委員会を9月7日に開催し、準備状況等を確認。次回、実行委員会は10月19日(水)10時から開催。

・大阪府共同募金会からボランティアグループ連絡会へ感謝状が贈呈される。大阪福祉大会(11月16日)で受賞式典。

☆センターより

・赤い羽根共同募金「街頭募金活動」10月4日から応募者多数で締切り。
・岩手県台風災害、台風10号12号災害の募金箱をボランティアセンターに設置、カンパをお願いいたします。
・ボランティアセンター内の物品整理について

後	編
記	集



9月に入っても暑い夏が続いたと思ったら、一週間雨が降り続く異常気象。それでも彼岸が来ると、田んぼのあぜ道や土手に真っ赤な彼岸花(曼珠沙華)別名)が咲いている。彼岸花は色によって花言葉が違っている。一般的にはその赤い花色から「情熱」、「思ひ」の花言葉が多用されているが、子ども頃の思い出となれば印象は違ってくる。彼岸花の太い茎は意外と柔らかくすぐにポキッと折れる。両手一杯に摘んで帰り、茎をポキポキ折っては髪に挿し「かんざし」に、長いものと短いものを交互に折って「首飾り」にして楽しんだ。季節が変わる度に、野の草花を摘んだ日々が懐かしく思える。

(こまねずみ)